

10/21

働く婦人の家 ホビーラ祭 2018

働く婦人の家を運営するホビーラ協議会による「ホビーラ祭 2018」が開催されました。

普段、働く婦人の家では、260人が茶道、粘土人形、キーボードなどの文化教室から、3B体操、ダンススポーツなどの運動教室まで37のサークル活動を行っています。

当日は、お茶席も設けられ、作品の展示や音楽演奏、体操、詩吟などのステージ発表を通して日頃のサークル活動の成果を披露しました。



10/27

スポーツの秋・健康の秋 スポーツ健康まつり & 氷見市民健康大学祭

スポーツ健康まつりと氷見市民健康大学祭が、ふれあいスポーツセンターで開催され、終日、スポーツ体験や体力測定、食生活スタンプラリーを多くの来場者が楽しみました。

大縄跳びやぞうきがけリレーなどの「ふれスポギネスにチャレンジ」や、紙コップを積み上げるタイムを競う紙コップタワー、イスに座ってできる体操、肌年齢チェックなど、自分の体や健康のことを楽しみながら考えるきっかけとなりました。

また、開会式には、テノール歌手の澤部 紀行氏らの演奏する万葉歌唱に合せ富山県ダンススポーツ連盟ジュニア会員の皆さんによるワルツが披露され、会場に華を添えました。



10/30

「上庄バス」が運行開始

加越能バスが運行していた三尾線・論田循環線が4月1日で廃止となったことに伴い、NPO 法人上庄谷地域協議会が10月30日、NPO バス「はやかわバス」と「くまなしバス」の運行を開始しました。

「くまなしバス」の出発式が論田の下論田バス停付近で行われ、瀬戸 恵理沙さん（氷見高校2年生）がバス運転手の向 政明さん（熊無）に花束を手渡し、地元住民らが手を振り、午前7時にバスの初出発を見送りました。

両バスともに、車両は14人乗りのワンボックスカーで、平日は4往復、土曜日は2往復します。「はやかわバス」は早借、上田、中尾などの新たなルートを加え、葛葉から氷見駅間を、「くまなしバス」は柿谷、七分一などの運行ルートを加え、論田から氷見駅間をそれぞれ各2台で運行し、既存の「くめバス」を含めた3路線での乗り換えが可能となりました。



10/30

豊かな自然を地方創生へつなぐ 氷見市木育ビジョンの策定

海浜植物園で木育会議が開催され、「木育ビジョン」の最終案が了承されました。

これは、木の魅力を育児や産業振興に生かす今後10年間の取り組み内容を定めたもので、市町村レベルでのビジョン策定は全国初となります。

氷見の豊かな自然を生かしつつ、林業、教育、福祉が連携し、地方創生への推進力になることをビジョンに盛り込みました。

また、海浜植物園に次の機能をもつ木育拠点を平成33年4月に整備する計画としました。

- ① 氷見産材を活用した屋内空間、木製玩具を整備した子育て・教育支援・多世代の交流の場
- ② 氷見の自然を活かした自然体験プログラムやグリーンツーリズムなどの観光拠点
- ③ 氷見産材を活用した商品開発やその販売等を行う地域商社機能

今後は各種団体による連携のもと、本ビジョンの実現に向けた動きを加速してまいります。

氷見市の木育ビジョンの詳細は、市ホームページをご覧ください。



10/31
～11/4

3年ぶり 立教大学水泳部秋季合宿

名誉市民 安部 清氏のご子息 安部 喜方氏が総監督を務める立教大学水泳部が市民プール・トレーニングセンターで3年ぶりの秋季合宿を行いました。

初日に、市役所を訪れた一行に「技術向上に励み、練習の合間には氷見の食や温泉を満喫し、実りのある合宿にしてほしい」と林市長が歓迎の言葉を述べると、安部氏は「合宿ではチーム作りを重点とするとともに、市民との交流も大事にしたい」と述べられました。

滞在中には、立教大学水泳部員による小・中学生など市民を対象とした水泳教室が行われ、最終日には、小・中学生など 81 人が参加し、大勢の声援の中、氷見市水泳記録会も開催されました。



11/1

読書の秋を 電子図書館サービスで

図書館では、県内初となる電子図書館サービスをスタートさせました。このサービスは、インターネットに接続できれば、どこにいても電子書籍を閲覧することができるものです。

来館しづらい人への利便性を高め、新たな利用者の増加や読書意欲の高まりにつながると期待しています。

電子書籍は文字の大きさを変更できるものや、音声の読み上げができるものもあります。今年度は絵本や紙芝居、育児、料理などの子育て世代向けの書籍を中心に、約 500 冊が貸出できるようになりました。

また、1/2 成人式で施設学習に訪れていた小学校4年生の平瀬さんは同日にサービスを開始した読書記録帳を作成し、貸出中の図書6冊を記録し「もっとたくさん本を読みたくなった」と思いを語りました。



11/2

豊かで美しい氷見の海を守るために 漁業関係者らが海岸清掃

氷見市水産多面的機能発揮対策協議会は、氷見漁港沖の唐島と小境海岸に打ち上げられた漂着ゴミの清掃を行いました。

この活動は、海岸清掃を行うことで、水生生物の産卵や幼稚魚の生育の場となる藻場を保全するため、毎年、実施しているものです。

小境海岸では、さわやかな秋晴れの下、氷見漁協職員や定置網漁業者、観光協会、氷見朝食研究会の約 50 名が、コンテナ 2 杯のごみを集め、海岸の美化に取り組みました。



11/2
~11/4

第 28 回氷見市菊花大会

氷見市菊花大会が海浜植物園で開催され、氷見市菊花会の会員 29 人と窪小学校、上庄小学校の児童らの丹精込めた作品が 253 点並びました。

来場者は、菊の薫り漂う会場で、カメラに収めたり、目で楽しんだり、香りを楽しんだり、思い思いの方法で盆養や切り花など色彩豊かな作品を楽しんでいました。

また期間中の土日は、秋植えの苗・球根の即売会に加え、海浜植物園が無料開放されるなど、家族連れで賑わいました。

【平成 30 年度特別賞】

市長賞	穴倉 務 氏(切花 3 輪組花)
大会会長賞	池森 五作 氏(中立作り)
名誉会長賞	辻 良成 氏(3 鉢花壇)
理事長賞	松井 徳昭 氏(盆養 7 本立厚物)
菊花クイーン大賞	松平 満枝 氏(スプレー菊鉢作り)
スプレー菊切花(単花)賞	北島 篤子 氏(スプレー菊切花)



11/3

発見 20 周年記念 柳田布尾山古墳まつり

柳田布尾山古墳まつり実行委員会と教育委員会が主催する柳田布尾山古墳まつりが、開催されました。

今年、平成 10 年(1998) の古墳発見から 20 年の節目の年にあたり、実行委員会の森会長は「地域の住民のおかげで今年を迎えることができた」と述べました。

屋外ステージでは、窪小学校児童による浦安の舞、正派柗会子ども箏体験教室による箏の演奏、ビバふじみだい

児童育成クラブによる氷見万葉歌の朗唱が披露され、^{まが}勾玉づくりや火おこしの体験コーナーが設けられほか、富山県埋蔵文化財センターによる古代武人着付体験なども行われ、さわやかな秋晴れの中、多くの家族連れらが楽しい時間を過ごしました。



11/11

万が一に備え 原子力防災訓練

石川県志賀町で震度 6 強の地震が発生し、志賀原子力発電所から放射性物質が放出された想定で、今年で 7 回目となる原子力防災訓練が実施されました。

一時移転訓練では、阿尾、藪田、女良自主防災会地区の住民の皆さんが、一時集合場所の海峰小学校などで安定ヨウ素剤の説明を受けました。その後、避難退域時検査場所の氷見市民病院跡地などを經由し、指定された避難先である県立小杉高等学校へ避難しました。

氷見市民病院跡地では避難する自家用車の、屋内健康広場ではバスの放射性物質付着状況の確認検査の後、避難者の放射性物質付着による汚染検査や拭き取りなどの除染訓練が行われました。

小杉高校では、参加者が原子力災害の対策に関する講演会で、防災への意識を高めました。また、高校生が初めてボランティアとして参加し、避難誘導や非常食の提供などを行いました。

富山県や自衛隊などの関係機関や 3 地区の住民約 2,250 人(屋内避難含む)が訓練に参加し、万が一の原子力災害に備えた行動を確認していました。

